

プロの作家2人が夢の共演！

キッズランド ライブペインティング

5月3日、絵本作家のあべ弘士さんと荒井良二さんの2人によるライブペインティングが「こじゅうろうキッズランド」で行われました。

2人には「夜の森」と「朝の森」というテーマを出題。旭山動物園の飼育員として長年動物と触れ合っていたあべさんは今にもキャンパスから飛び立ちそうな迫力のある大きなフクロウが居る「夜の森」を描き上げました。荒井さんは、ほとんど筆を使わずに指やダンボールの切れ端を使ってダイナミックに描いていき、キャンパスいっぱい色彩豊かな「朝の森」を仕上げました。

日本を代表する絵本作家の共演に見学者はかたずを飲んで見守っていました。どちらの作品も心奪われるすばらしい作品ができあがり、見学者は「どちらの絵も最後まで何が出来るか分からず、目が離せませんでした」と話していました。



1



3

2

1_途中休むことなく一気に描き上げました 2_あべ弘士さん作「夜の森」 3_荒井良二さん作「朝の森」

食味日本一の「しろいし米」を継承

宮城白石産ササニシキ田植え

5月12日、斎川地区で宮城白石産ササニシキ復活プロジェクトによる田植え作業が行われました。このプロジェクトは、かつて食味日本一を獲得した白石産「ササニシキ」を復活させようと生産者9人が栽培に取り組んでいます。

今では希少となったササニシキを米のブランド化に結びつけ、定期的に生育状況の確認と勉強会を行い、徹底した管理のもと栽培しています。今年は8.3haに作付けし、約34トンの収穫を予定。生産者の太斎雄一さんは「ササニシキを通して白石を知ってもらい、白石をアピールしたいですね。多くの皆さんにおいしく食べていただけるように作っていきたいです」と笑顔で話してくれました。

収穫したササニシキは、おもしろいし市場で販売するほか、宮城白石産ササニシキ復活プロジェクトのホームページでも販売を予定しています。



1



2

3

1・2_ササニシキの田植えの様子 3_令和2年産ササニシキはおもしろいし市場で販売中です

白石の花の名所を守るために

スパッシュランドパーク清掃活動

4月22日、小原小・中学校の児童・生徒がスパッシュランドパーク清掃活動を行いました。この活動は、春の観光シーズン前に、シバザクラのある白石の花の名所を守ろうと毎年実施。この日は、小原小・中学校の児童・生徒と地域の人たち約30人が参加し、パーク内や周辺道路などのごみを集めました。

参加した生徒は、「観光客が気持ちよく観光できるように、皆さんと協力してきれいにできたのでよかったです」と話してくれました。



▲パーク内のごみを拾い集める児童・生徒たち

地震被害の白石城の復活へ！

クラウドファンディング目標達成

4月30日、「一般社団法人宮城インバウンドDMO」が企画した白石城の復旧支援のクラウドファンディングが目標金額の500万円を達成し、寄付金の贈呈式が行われました。

今回のクラウドファンディングは、地域おこし協力隊の後藤永行さんと松井瑞輝さんが中心に呼びかけ、572万3千円、総勢733人の方から支援がありました。支援金のうち、半額を白石城の修繕費用として寄付いただき、もう半額は返礼品や観光施策の費用に充てられます。



▲白石城本丸広場で行われた寄付金の贈呈式の様子

シャッターアート第4弾！

白石中学校総合文化部とのコラボ制作

5月8日、地域おこし協力隊の清水智園さんの第4弾となるシャッターアート制作に、白石中学校総合文化部の部員が参加し、ペイント作業を行いました。部員たちは、初めてのシャッターアート制作にも果敢に取り組みまちを彩りました。

今回の作品は、中町・長町商店街の店舗「サロン・ラ・ポール」で制作しています。制作期間はおよそ1カ月で、6月中旬ころ完成予定となっています。



▲シャッターにペンキを塗る作業。丁寧に塗っていきます